北海商科大学　講義概要（シラバス）

2026年度

科目名	異文化ゼミナール	科目コード	1152	単位数	2
担当者名	山口　晴敬	開講セメスター	第2セメスター	開講年次	1年次
授業の方法	講義	到達目標	B	実務経験	無
ナンバリング	BSe202	※DP（ディプロマポリシー）と到達目標の関連性については、カリキュラムマップ参照			

授業のねらい

日本と異なる韓国の文化を様々な調査活動を通じて体験し、豊かな人間形成に役立つ幅広い教養と異文化理解および表現力を身につける。また、韓国にとどまらず、我が国及び北朝鮮、台湾などの政治・経済・文化を比較し、多面的・多角的に事象を検討する力を養う。学内Wi-Fiを用いてオンライン上のデータを授業で使用し、ICT(情報通信技術)の利活用の方法を学ぶ。

到達目標

日本と異なる韓国人の生活･文化などを、様々な文化ジャンルを通じて体験し、その体験から国家間に存在する異文化の理解を深めることを目標とする。また本ゼミでは、「体験学習」、「調査学習」、「グループ・ディスカッション」、「グループ・ワーク」、「プレゼンテーション」などの取り組み方法や学習姿勢を身につけることがもう一つの目標である。

授業内容

1週目 オリエンテーション及び日本と異なる文化に関する基礎知識の確認
2週目 「異文化」調査に必要な参考資料（図書館資料など）の確認及びその調査方法に関する「グループワーク」
3週目 日本における韓流（学内Wi-Fi使用予定）
4週目 韓国と北朝鮮の政治体制（学内Wi-Fi使用予定）
5週目 日韓関係の今（台湾との比較をしたうえで）及び「グループ・ディスカッション」（学内Wi-Fi使用予定）
6週目 現代の韓国ドラマから理解する韓国文化（学内Wi-Fi使用予定）
7週目 韓国料理と食文化体験
8週目 韓国の民主化運動とその歴史（学内Wi-Fi使用予定）
9週目 韓国映画に映す韓国社会の理解及び「グループ・ディスカッション」
10週目 韓国の現在の政治課題の考察「グループ・ディスカッション」（学内Wi-Fi使用予定）
11週目 日本と異なる韓国文化に関する個人研究調査発表①及び「ディベート」その1
12週目 日本と異なる韓国文化に関する個人研究調査発表①及び「ディベート」その2
13週目 日本と異なる韓国文化に関する個人研究調査発表②及び「ディベート」その3
14週目 日本と異なる韓国文化に関する個人研究調査発表③及び「ディベート」その4
15週目 講義のまとめ及び講義を振り返っての気づきレポート作成・発表
16週目グループ・ワーク(テーマ：日韓、日中の間に存在する異文化）及びグループ・ディスカッション　但し、やむを得ず15回のゼミが実施できなかった場合、補講ゼミを実施

準備学修（予習・復習）の具体的な内容及びそれに必要な時間

予習：manaba上に事前に提示される予習課題の作成や次回のゼミ資料を読むこと。（必要な予習時間：2時間程度）
復習：毎回のゼミ中に提示される復習課題を完成し提出することや、ゼミ内容のまとめノートを作成し提出すること。（必要な復習時間：2時間程度）

成績評価の方法・基準

課題(事前の資料調査、作成された発表文等)：20%、
「体験学習」や「グループ・ディスカッション」結果の報告書：20%、
個人研究調査発表：30%、
レポート(個人研究調査発表に対するフィードバックレポート等)：30%

履修上の留意点

本ゼミは、原則、対面のみで実施される。
全ての課題に対する提出先は本ゼミのmanabaのみとする。
ゼミ中、スマホ使用は厳禁。座席は指定する。
成績の評価は、10週以上出席した学生を対象とする。
新聞や雑誌、ウェブサイトなどから韓国の文化や社会に関する記事を日頃からよく読むように心がけること。

課題に対するフィードバックの方法

全ての提出課題（レポート、感想文、発表資料など）に対し、毎回採点を行い、点数とコメントをmanabaおよび対面でのフィードバックを行う。

テキスト

特になし。必要な講義資料は本学のmanabaを利用し配布する。

参考書

延 恩株（2021）『韓国ことばと文化』（論創社）2,200円
六反田豊(2021)『1冊でわかる韓国史』（河出書房新社）1,700円
松本麻人(2024)『現代韓国の教育を知る』（明石書店）2,600円
片桐圭子(2025)『現代韓国の超基本』（朝日出版社）1,400円

更新日付

2026/02/25 01:30